

2015 年度総会開催模様

3/14(土)厚木市睦合南公民会において、メンバー 40 名の出席を得て、2015 年度 TTC 総会が開催された。氏名削除君を議長に選任した後、2014 年度活動報告、同決算報告、同会計監査報告、2015 年度活動方針、同年間山行計画案、同予算案、世話人および役割分担案等、世話人会が用意したすべての議案は、原案通り承認いただいて無事終了した。

TTC の発展に尽力いただいた氏名削除君、10 年以上の長きにわたって世話人として TTC を支えていただいた氏名削除君、氏名削除君の 3 人の古参メンバーが世話人を退任されました。なお、氏名削除のお二人には、これからも引き続き、ゆった〜り山行の企画運営に参画いただきます。また、これまで 2 年間世話人代表として活躍頂きました氏名削除君に代わって、新たに氏名削除君が世話人代表に、また、新世話人に氏名削除君と氏名削除君が就任されました。2015 年度は、49 名の現役メンバー (退会: 氏名削除君、休会中の氏名削除君、休会: 氏名削除君、氏名削除君、復会: 氏名削除子君、氏名削除君) と 17 名の世話人体制でのスタートです。TTC 主催山行計画として、定例山行 12 件、提案山行 38 件(ゆった〜り山行 12 件を含む、うち宿泊山行 19 件) が提案され、早速 10 件の参加者募集と 6 件の山行計画の提案が行われました。新年度も安全登山に徹した山行を実施していきます。

TTC 通信編集担当者退任挨拶

TTC 創設以来満 18 年間、メンバーのコミュニケーションツールとして毎月発行してきた TTC 通信は、2015 年 3 月発行の No. 215 号をもって休刊することになりました。これま

でご愛読いただき、原稿執筆にご協力いただいた各位に心からお礼申し上げます。

TTC 通信の編集は、初代: 氏名削除君(創刊号~No. 25)、2 代目: 氏名削除君(No. 26~No. 60)、3 代目: 氏名削除君(No. 61~No. 215)と引き継がれ、毎月欠かさず発行されて、皆様のお手元に配布してきました。とくにメンバー全員参加企画としてリレ連載した「会員のプロフィール」、「私の一山」、「心に残る山行」、「山に想う」の 4 シーズンでは、一人のメンバーも欠けることなく、全メンバーの原稿を掲載できたことは特筆される。また、No. 150 から、紙面を A4 判 2 ページ構成に充実させ、「安全登山豆知識」や「山の花・野の花」等の企画記事を連載して、メンバー各位の安全登山意識や知識向上に多少なりともお役に立てたことは編集者冥利に尽きる。メンバー間のコミュニケーションツールが、紙ベースから NET 主体に変わった現在、TTC の外部向け広報ツール及びメンバー相互のコミュ

ニケーションツールのあるべき姿について、よく検討して、ベストソリューションを得たうえで、TTC メンバー間の新たなコミュニケーションツールとして復活されることを願っています。長い間ご愛読ありがとうございました。

山行実施結果報告

◇大山街道④(海老名-大山ケーブルバス停)(ゆ)★☆2/28(土)日帰。公共交通利用、天候:晴。参加 9 名。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:スタッフ名削除。

◇大山街道⑤(大山ケーブル駅-大山山頂往復)(ゆ)★★3/15(日)日帰。公共交通利用。天候:曇/晴、参加 7 名。CL/計画:、SL、救護:スタッフ名削除。

至近の山行予定

◇三浦アルプス(提案)★★3/21(土)日帰、公共交通利用。申込 19 名。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:スタッフ名削除。

◆筑波山(定例)★☆3/28(土)日帰。ハイネス利用。申込 12 名。

北海道から本州、四国、九州、沖縄、朝鮮半島に分布し、やや湿った場所に自生。垂直分布が広く、人里近くの田の畦道には 3 月頃花を咲かせ、高山帯では、6-7 月頃高層湿原や雪解け直後の斜面に花を咲かせる。先端の尖ったやや細長い葉は地面を這うように放射状に伸びる。やや厚みのある葉の表面は光沢があり、冬は赤みを帯びる。春に地際から 20-30cm の花茎を伸ばし、先端に横向きに数輪の花を咲かせる。花は紅紫色の一重が一般的だが、変種が多く、白花や八重咲種もある。花被は花が終わった後もそのまま残り、色褪せはするものの緑色の花姿を残す。種実の他、葉先のできる不定芽によっても繁殖する。名前は赤い花を中国の伝説上の動物「狒々」になぞらえ、根生葉の重なりが袴に似ていることに由来する。九州にツクシヨウジヨウバカマ、屋久島にヤクシマが、沖縄にオシロ、ヒメ(コ)が付く近隣種の存在が知られている。

山の花、野の花

ショウジョウバカマ【猩々袴】 (理科ショウジョウバカマ属の多年草)



CL/計画:、SL、会計:、救護: **スタッフ7名削除。**

◆**黒川鶏冠山(提案)★★**3/29(日)日帰、ハイース利用。申込:11名。CL/計画、SL、会計:、救護:**スタッフ7名削除。**

◆**鳶尾山お花見(定例)☆**4/4(土)日帰、現地集合。申込17名。CL、SL、会計:、救護:、計画:**スタッフ7名削除。**

◆**高尾さくら保存林観桜ウォーク(ゆ)★**4/15(水)日帰、公共交通、申込15名。CL/計画:、SL、救護:**スタッフ7名削除。**

◆**丹沢塔ノ岳山開き登山(提案)★★**☆4/19(日)、現地集合。申込9名。CL/計画:、SL、救護:**スタッフ7名削除。**

◆**足利ワカパーク・館林つつじヶ岡公園(ゆ)☆**4/28(火)日帰、マイカ-利用。申込4名。計画:。**申込僅少につき中止。**

◆**北ア燕岳(提案)★★★★**5/1-5/2:1泊2日、マイカ/タクシー利用。申込11名。CL/提案:、SL、会計:、救護:**スタッフ7名削除。**

◆**明神ヶ岳・明星ヶ岳(提案)★**☆5/2(土)日帰、公共交通利用。申込7名。CL/提案:、**SL以下のスタッフは後日CLが指名。**

◆**大室山・加入道山(提案)★★**☆5/9(土)日帰、ハイース利用。申込10名。CL/提案:、SL、会計:、救護:**スタッフ7名削除。**

◆**道志今倉山・二十六夜山(定例)★**☆5/17(日)日帰、マイカ/バス利用。申込14名。CL/計画:、SL、会計:、救護:**スタッフ7名削除。**

◆**奥多摩川苔山(提案)★★**☆5/23(土)日帰、マイカ/バス利用。申込20名。CL/提案:、SL、会計:、救護:**スタッフ7名削除。**

◆**北海道幌尻岳(提案)★★★★**☆7/23(木)-7/27(月):4泊5日。航空機/レンタカー/シャトルバス利用。申込8名。CL/提案:、SL、会計:、救護:**スタッフ7名削除。相当健脚向。**

4月募集山行

◆**檜洞丸(提案)★★★★**5/30(土)日帰、公共交通利用。提案:。**シヤシヤを愛でに。**

◆**富士箱根トレイル(定例)★**☆6/6(土)日帰、公共交通利用。計画:。**明神峠～紅富台。**

◆**旧東海道ウーキング(提案)★**☆6/7(日)日帰、公共交通利用。提案:。**三島～元箱根。**

◆**奥日光高山・千手ヶ浜(提案)★**6/14(日)-6/16(火):2泊3日。シャトルバス利用。提案:。**クワソウとシロヤオ。**

◆**駒止湿原・高清水・帝釈山・田代山(ゆ)★★**6/21(日)-6/22(月)1泊2日。ハイース利用。提案:。**100万本のヒメユキ、オババグサ。**

◆**越後駒ヶ岳(提案)★★★★**☆6/27(土)-6/28(日)91泊2日。公共交通利用。提案:。**避難小屋自炊泊の百名山登山。**

山に想う

失敗

#111 氏名削除

山を歩く様になって早一年。まさか私が山歩きに、こんなにも夢中になるとは思いもしなかった。

最初の山は元山岳部の友人に誘われて行った2月のヤビツ峠から塔ノ岳への表尾根ピストンでした。そこは大雪に覆われた白銀の尾根、テレビや写真でしか見たことのない銀世界が広がって感動のしまくり。それと同時に丹沢なんてと軽く考えていた私の考えが軽く吹き飛ばされました。登山と言えば学校の遠足でしか経験が無く(小学校で高尾山、中学で紅葉台、高校で爺ヶ岳)私にとって表尾根は細い尾根道また、鏝場がありスリル満点でビックリでした。登山道はもっと整備された安全な道だとばかり思っていました。そんな新しい発見&感動があり、気が付けばどっぴりと山にはまってしまい、週末に時間さえあれば山を歩くようになりました。そんな中、初心者ゆえの失敗を何度かしました。その一つを紹介します。ベテランの諸先輩方こそしてみればいた事では無く、当たり前的事かもしれませんが初心者の私にはおほい大きく残る出来事でした。

昨年4月初旬、友人二人に誘われ天神平～土樽へ行きました。三度目の山登りとなる私にとって谷川岳は期待よりは不安の方が勝っていました。

しかし当日は天気も良く暖かい穏やかな山行となり、谷川岳、一ノ倉岳からの絶景を官能し何時しか不安は楽しさへと変わって行きました。危険そうな急な登り、また雪庇の張り出した尾根を通過し樹林帯に入り、今まで張っていた気も

緩み下山もあと30分位という所で事は起きました。かなり標高も低くなり温暖な午後と言う事もあり、今まで締まっていた雪の表面が濡れ始めてアイゼンの効きが悪くなり、何度か転びそうになりましたが樹林帯という事で、それ程の危機感を持たずに歩き続けました。疲れもあって少し歩き方が雑になり始めた時、ストックを軸にスリップしてしまい、そのまま10m位滑落してしまいました。

人生初の滑落、あつという間にスピードが乗って『自分の力では止まれない』と思い、木こぶつかって止ろうかとも思いましたが、あまりのスピードで怖くなり、他に方法が無いか考えていたら、少し先に大き目の木の根元がすり鉢状に雪が溜まっているのが目に入り、そこへ突っ込んで止まろうと思えば体を傾けたりして何とかすり鉢状の穴に激突し止りました。

止まった事に安堵し気持ちが落ち着いて来ると体の事が心配になり仰向けのまま指先から順番に手を動かして始めたら右肩が動かない事に気づきました。何故だかその時は不思議と痛みを感じず、それより何とか肩を入れないと下山が出来ないという焦りがありました。初めての脱臼に私は何とか肩が入らないかと上半身を左右に、もがき動いていたら肩からゴリゴリと嫌な感觸、肩が入るかとも思い、今までより激しく体を動かしていたら激痛と共に入りました。痛かったけど、ほっとした瞬間でした。幸いにして他に負傷した箇所は無く左手にストック握り肩の痛みと共に雪道をゆっくりとした歩調で何とか下山出来ました。

知識では下山時に事故が多い事は知ってはおりましたが、まさか自分が当事者になるとは思いも依りませんでした。頭では分かっている山で意識し続ける事はとても難しいと事と思いました。しかし二度とこの様な事が無い様、今では下山時、又お疲れて来た時は『疲れ始めたから事故が起きる』と自分に言い聞かせ歩くようにしています。

他にも道迷い、熱中症対策前なども経験し、その都度、原因と対策を考え二度と同じ事を繰り返さない様、心掛けています。これからも好きな山歩きを続けるため、過去の失敗を忘れず山へ行きたいと思います。**今回をもって本シーズ終了です。**

4月例会: 4/18(土) 厚木市睦合南公民館展示室、安全登山教室 18:30-19:30、例会 19:30-21:00、世話人会 18:00-18:30。